

誠実に一生懸命!

直^{じき}心^{しん}

題字:長泉寺住職 後藤佑芳氏

県政だより

第45号(2013年11月)

静岡県議会議員

たいいち

あつみ泰一



本年度も早や半年が過ぎました。

6月には県知事選挙、7月には参議院議員選挙があり、県議会の日程も例年とは大きくズレが生じました。

そうした中で、私は本年度副議長を拝命し、議長を補佐し、県議会を代表しての各種行事への出席も多く、その分また役職ならではの貴重な勉強や経験をさせて頂いております。これも偏に皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

静岡県議会においても9月議会から、本会議における一問一答方式が導入されるなど、議会運営の仕方も少し変わって来ており、より活発にして円滑な議会運営に努めてまいります。

本県においては、第4次地震被害想定を踏まえた地震・津波対策が待ったなしです。総額4,000億円に上る防災・減災対策と内陸部の開発、地域成長を同時に推進する「内陸フロンティアを拓く」取り組みを、国による国土強靱化施策も上手く取り込んで進めて行く必要があります。

富士山世界文化遺産登録や2020年の夏季オリンピック、パラリンピックの東京開催決定を追い風にして、静岡県の更なる発展につながる様最善を尽くしてまいります。

渥美 泰一

県議会9月定例会が開催されました。9月25日～10月17日

今定例会においては、学力や教材選定問題、TPPへの対応、地域外交など活発な議論が展開されたほか、総額151億円余の補正事業を可決しました。

9月補正予算関係

- 市町が緊急かつ重点的に地震・津波対策を実施するための交付金 92億円
- 浜松市沿岸域の防潮堤を整備 12億円
- 市町の防災拠点施設に太陽光発電設備・蓄電池を導入など 14億2,450万円
- 富士山世界遺産センター設計費用・三保の松原の景観保全対策費など 7,400万円
- 待機児童の解消を図るため、保育所の設備助成など子育て支援 2億897万円
- 医療人材の確保及び在宅医療体制の強化対策など 14億6,000万円
- 強い農業づくりに向けた共同利用施設の整備助成など 2億5,510万円

県は地震・津波対策をより早く実施するための予算を確保するため、議員を含めた職員の給与を削減します。

削減内容は知事が20%、副知事ほか常勤の特別職員が10%、課長以上8%、班長・主任級6%、これ以外の職員が3%を26年3月まで削減し、総額66億9,900万円を確保する。これに呼応し、私たち議員も10%削減を決定しました。これによって得られた予算は、災害時の対策拠点となる県有施設や河川・港湾の設計費、堤防や水門の安全性調査などに充てます。

国に対し、6項目の意見書を提出しました。

- 1.法曹養成制度の適正な改革を求める意見書
- 2.空き家対策に関する意見書
- 3.重度障害者(児)医療費助成制度の創設を求める意見書
- 4.自動車関係諸税の在り方についての意見書
- 5.鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書
- 6.食品ロスの削減に関する意見書

一問一答方式を導入

この9月議会から一問一答方式が導入されました。この方式は、質問者は最初の一問のみを演壇で行ない、あとは議員席の最前列に設置された質問者席に移動して質問します。答弁者も最初だけ演壇にて答弁し、あとは自席にて答弁します。一つの質問はそれぞれ再々質問まで行うことができます。一問一答は、一つの質問の後すぐにそれに対して答弁するので、大変分かり易いし切迫感がある。議会の更なる活性化につなげて行きたいと思えます。

待ったなしの地震・津波対策に県は最優先で取り組みます。

●市町のアクションプログラム策定を支援

6月に公表した第4次地震被害想定及び、県の「地震・津波アクションプログラム2013(平成25年～平成34年)」を踏まえて策定する各市町のアクションプログラムが、早期に実現する様、市町と一体となって取り組みます。

●新たに「緊急地震・津波対策交付金」を創設

市町への補助引き上げや、施設の安全性調査なども対象事業に加えます。

●浜松市沿岸地域の防潮堤整備工事に着手

一条工務店からの300億円を財源に、浜名湖今切口から天竜川右岸までの遠州灘沿岸約17.5kmに平均高さ13m～15mの防潮堤を構築します。これによって、津波(最大14.9m)による浸水域は大幅に減少することが期待できます。

築堤の位置は、砂浜に極力影響を与えない様、保全林の最も海側とする。構造は、堤の芯は土とセメントを混合したCSG堤とし、津波に対し練ばり強さを持たせると同時に、環境面・景観面に配慮し、表面には抵抗性クロマツを植え、保安林を再生する。

天竜阿蔵山などからの二百数十万立方メートルの土砂の確保に目途が立ったこ

とから、年度内の発注を目指します。

●建築物の耐震化

平成27年度までに耐震化率90%達成を目指します。

●木造住宅の耐震化助成1万7,000戸達成。平成27年度までの助成目標2万戸の前倒し達成を目指します。

●本年5月に法律が改正され、病院、百貨店、ホテルなど多くの人々が利用する建築物のうち、大規模な建築物について、耐震診断の実施が義務化されました。県は9月補正予算に1億3,000万円を計上し、耐震診断を支援します。

●災害時における医療提供体制を強化

7月に浜松赤十字病院と静岡市立静岡病院が災害拠点病院に指定され、県内の災害拠点病院は20ヶ所となりました。

災害拠点病院には、医師など43名を「災害医療コーディネーター」として委嘱し、災害時における県外からの医療支援の調整などの役割を担っていただきます。市町や災害拠点病院、医療関係者が連携して、災害時における医療提携体制の一層の強化を図っていく必要があります。



富士山の後世への継承のために

去る6月22日、これまでの20年間の取り組みが実を結び、富士山が三保の松原を含めて、世界文化遺産に登録されました。

名称は「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」

世界遺産委員会から、平成28年2月1日までに保全状況報告書を提出することを求められていることから、県は新設した「富士山世界遺産課」を中心に、保全管理に向けた取り組みを進めます。

●「富士山世界遺産センター」を整備します

「守る」「伝える」「交わる」「究める」の4つの機能を有し、富士山に係る包括的な保全管理や来訪者への対応を行います。建設場所は、富士宮市浅間大社南側に決定しました。

●富士山来訪者への対応

7月25日から8月3日までの10日間、「富士山保全協力金」の社会実験を行

い、山梨県と合わせて3万4千人の方々から3,400万円の協力金をいただきました。またアンケートから、協力金導入に対して多くの賛意が示されました。来年度の本格実施に向けて検討します。今年の夏山期間中における富士山の登山者数は、静岡山梨両県を合わせ37万2千人余でした。富士山の環境に与える負荷や登山者の安全確保などの観点から、適正な登山者数の検討を進めます。

●三保の松原の景観改善を検討します

イコモスから指摘があった沖合の消波堤の代替工法の検討に着手し、「三保の松原白砂青松保全技術会議」からの意見を踏まえ、海岸保全と景観改善の両立を目指します。

●交流人口の一層の拡大を図ります

世界遺産登録で注目が集まる本県への観光誘客活動を、国内外で積極的に展開します。

学力問題で校長名を公表

経緯

本年4月に実施された全国学力・学習状況調査における、小学校6年生の国語A(基礎問題)の本県の平均正答率が全国平均を5ポイント下回り、全国最下位となった。これを受け、従来から教育委員会の在り方に少なからず疑念を抱いていた川勝知事が怒り、平均を下回った学校の校長名を公表すると言い、文科省を含めて教育委員会と対立、全国的な話題にもなりました。結果的には、相方が折れた形で、知事はそれまでとは逆に平均を上回った86校の校長名を公表することで決着が着きました。本県の義務教育を見直す大きなきっかけになりました。

反省

全国学力テストが始まった2007年度は、小6が11位、中3が9位であったが、小6

は10年度以降全国平均を下回っている。中3は9年度の7位が最高で、10年度以降は徐々に順位を下げていくが、全国平均は上回っている。

校長名公表の是非は別として、問題は学力テストの結果を、日々の教育活動の充実や、家庭・地域と連携した取り組みに十分活かしていくことが大切ではないかと思えます。

対応

県教育委員会は、昨年度の「学力検証委員会」からの提言と今回の調査結果を分析し、新たに設置した「学力向上対策本部」を中心に、各市町教育委員会と連携し、オール静岡体制で学力向上に取り組むとし、10月24日には全公立小中学校校長による「学力向上集会」を開催し、このことが確認されました。

■東海北陸7県議会議長会における国への要望活動



本県と愛知、岐阜、三重、福井、石川、富士の東海・北陸7県では協議会を結成し、連携して中部圏の諸問題解決に取り組んでいます。国の来年度の予算編成に先立ち、各省庁及び衆参議院議長に対して要望活動を行いました。地方議会から国に対して積極的に提言して行きます。

地元産業の振興と新たな産業の育成を目指して

■ベルシオン型風車を視察



栃木県にある(株)グローバルエナジー研究所を再び訪問し、横軸型と縦軸型の風力発電実験装置と羽根の無い飛行機の説明を受けた。発明した鈴木政彦氏は浜北出身であり、何としても静岡県岡島の企業で製品化を実現し、新たな産業にして行きます。

厚生委員会における県内医療施設の視察



■県立静岡がんセンター

通院治療センターや内視鏡室の拡充、最新鋭のリニアック(放射線治療装置)への更新など、診療器機の強化を図っており、これらの状況調査と課題となっている医師・看護師の確保対策への取り組みを調査した。その他県立総合病院・子ども病院の取り組みも視察しました。地域の医療機関と連携し、医療水準の向上を進めます。

■光産業創成大学院大学を視察



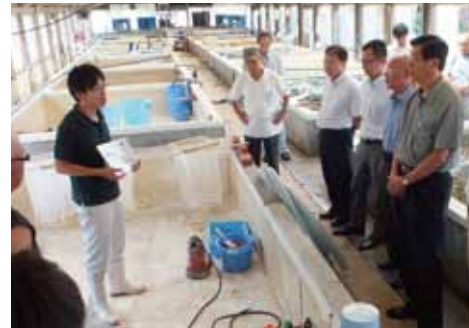
光技術のバイオニア浜松ホトニクス(株)が中心となって設立された大学。光技術による新たな産業の創成を目指す人材を受け入れ、浜松から世界に発信する人材を養成しており、現在29名が新事業開発、起業実践に挑んでいる。いずれ原発に取って代わるであろう未来のエネルギー、核融合施設も視察した。大変有望な技術であり、国レベルで支援して行く必要があります。



■消防操法県大会

県消防学校で開催された静岡県消防操法大会に、西遠支部大会で優勝した浜北区師団第1分団が出場した。地元から駆け付けた団員、OBの皆さんが固唾を飲んで見守る中、要員の皆さんは、素晴らしい操法技術を披露され、県大会5回連続出場と言う浜北区師団の面目を十二分に果たされました。県も消防団活動を支援して行きます。

■アサリ人工種苗生産施設を視察



浜名湖のアサリが急激に減少し、今年は初めて潮干狩りが中止された。浜名湖特産のアサリ漁の復活を目指す浜名漁協の皆さんの取り組みを視察した。その他、水産技術研究所のうなぎ稚魚の生産技術開発への取り組みと大和養魚(株)の養鰻場を視察した。浜名湖の漁業振興に取り組んでまいります。



静岡県議会議員 あつみ泰一事務所

〒434-0027 浜松市浜北区油一色132-1
TEL.053-585-1313
FAX.053-586-6155

私の県政活動をご覧いただけます県政へのご意見をお寄せください。
ホームページ ■ <http://www2.wbs.ne.jp/~atsumi-t/>
Eメール ■ atsumi-t@mail.wbs.ne.jp

「あつみ泰一携帯サイト」を開設しました。

携帯カメラでQRコードを撮っていただければ、あつみ泰一のサイトにアクセスできます。是非メール会員登録をお願いします。ホットな話題をお送りします。

